

【修正点】

○別紙 3-2 の「福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金による賃金改善の総額」について、A と B の賃金改善額をそれぞれ分けて記載するように修正。(AI19: Ai118 と AJ19: AJ118 を新設。R10 と S10 のセル結合を解く。)

○別紙様式 3-1 の AB31 および S47 の数式を (=IF(('別紙様式 3-2'!R10+'別紙様式 3-2'!S10)=0,"0",('別紙様式 3-2'!R10+'別紙様式 3-2'!S10))) に修正。

○特定加算の配分ルール (1 > 1 : を計算する別紙様式 3-1) について、以下の通り修正。(赤字が追加箇所)

特定加算による A グループの平均賃金改善額

= 本年度の平均賃金額 (特定加算含む (処遇加算・補助金のみ除く)) - 前年度の平均賃金額 (全て除く)

= ((Y8 - R7 - **R10**) / AB8) - 基準額 3 (A)

Y8 = A グループの本年度の賃金総額

R7 = A グループの本年度の処遇改善加算の総額

R10 = 交付金による A グループの賃金改善の総額

AB8 = A グループの本年度の常勤換算職員数

B グループの平均賃金改善額 = 本年度の平均賃金額 - 前年度の平均賃金額

= ((Z8 - S7 - **S10**) / AC8) - 基準額 3 (B)

Z8 = B グループの本年度の賃金総額

S7 = B グループの本年度の処遇改善加算の総額

S10 = 補助金による B グループの賃金改善の総額

AC8 = B グループの本年度の常勤換算職員数

C グループの平均賃金改善額 = 本年度の平均賃金額 - 前年度の平均賃金額

= ((AA8 - **T10**) / AD8) - 基準額 3 (C)

AA8 = C グループの本年度の賃金総額

T10 = 補助金による C グループの賃金改善の総額

AD8 = C グループの本年度の常勤換算職員数

○別紙様式 3-2 の AE22:AE121「賃金改善前の賃金が年額 440 万円を上回る職員」の「本年度の賃金の総額」と、この列を集計する AB8「本年度の常勤換算職員数 [人]」は、計算式上使用しない項目のため記入を求めない様式に修正。

○別紙様式 3-1 の S46 を以下のとおり修正。

(S46 修正前)

=IF(('別紙様式 3-2'!Q8-'別紙様式 3-2'!T8)=0,"",('別紙様式 3-2'!Q8-'別紙様式 3-2'!T8))

(修正後)

='別紙様式 3-2'!Q8-'別紙様式 3-2'!T8

修正前の数式は、別紙様式 3-2Q8 (特定加算の総額) と別紙様式 3-2T8 (特定加算額のうち C に配分された総額) が空欄の場合に S30 が空欄になる設定だったものを、「0」が表示される設定に変更。

(AB45 も、S46 と見た目を揃える観点から、同じ修正。)

○実績様式 3-2 AE3 (特定加算に係る加算額または賃金額が総額と内訳) の参照先セルのズレを修正。

○様式 3-2 処遇改善加算の区分選択欄に経過措置への対応のため、区分Ⅳ、Ⅴを追加。